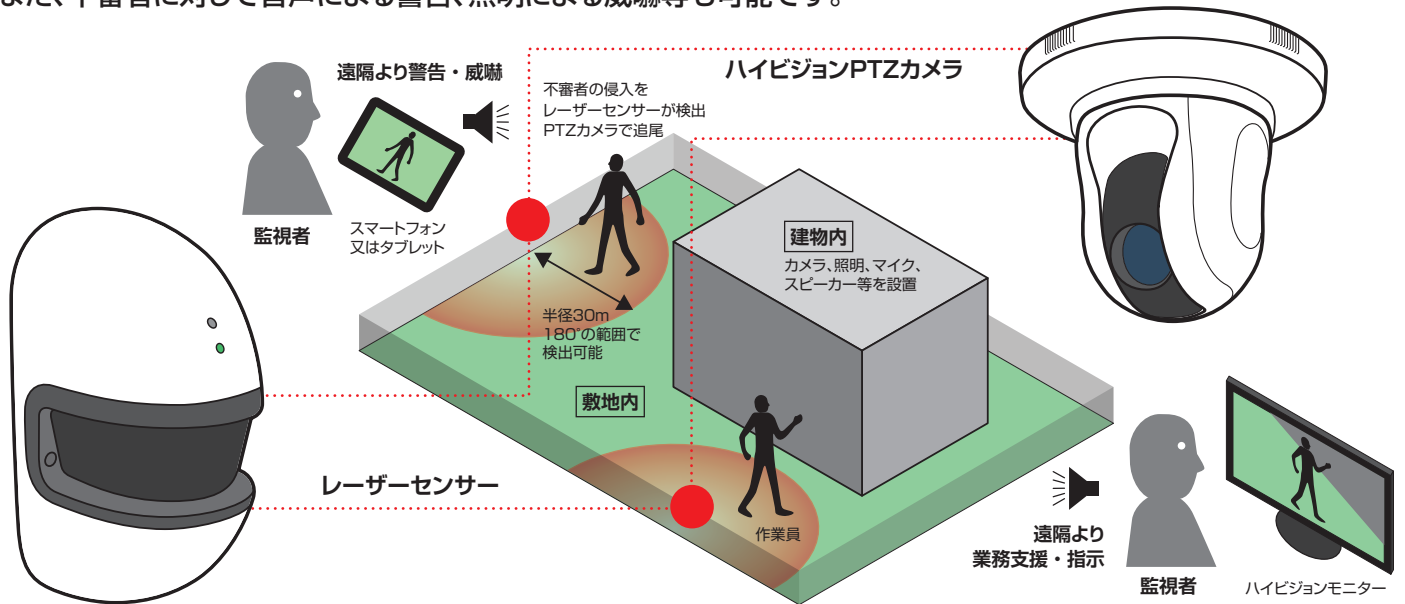


レーザーセンサーと自動追尾カメラでネットワーク監視

さまざまな施設において侵入警戒装置を導入することにより、不審者等による侵入を未然に防ぐことができます。また、不審者に対して音声による警告、照明による威嚇等も可能です。



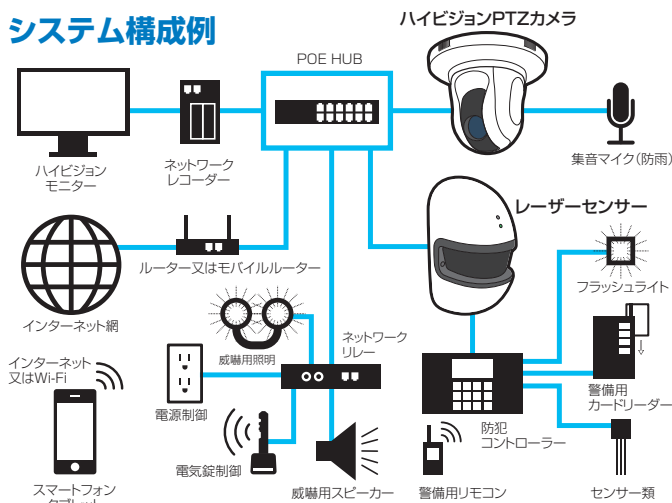
特長

- レーザーセンサーにより、およそ180°の範囲で半径30mまで監視する事が可能です。
- ネットワークカメラにより監視敷地の状況を確認し、音声による警告・照明による威嚇が可能です。
- センサーとカメラが連動し、侵入者に対してカメラが自動追尾することで、常時監視を行えます。
- 現地の作業員に対して監視者が遠隔にて映像を確認し、業務支援を行うことも出来ます。

レーザーセンサーの機能

- **防犯カメラ自動追尾**
侵入者をカメラで追尾することにより、侵入者を的確に捉えます。1台で広範囲をカバーするため設置コストを低減します。
- **面警戒による自動威嚇・警報機能**
赤外線センサーの通過時検知に対して、レーザーセンサーは面警戒(半径30m、180°)での検知機能により、警戒地区を広範囲に設定することが出来ます。
- **フィルタリング機能**
警報発報時間を設定することで、落ち葉・小動物等による誤った警報発報を事前に防げます。
- **モバイル端末による遠隔監視・操作**
スマートフォンやタブレットなど、持ち歩きが出来る携帯端末より、いつでもどこでも監視・操作が可能です。

システム構成例



仕様

項目	仕様
電源	DC 24V +10%/-15%
消費電力	17W 以下
通信インターフェース	RJ-45、10BASE-T 100BASE-TX 準拠
アラーム出力	入力2点/出力5点(無電圧出力)
測定距離	半径30m 角度 180度
動作環境	温度:-20~60℃ 湿度:30~90% RH
防塵・防水性能	IP 65
質量	約1.4kg

○製品の価格等については、別途お問い合わせください。○本カタログに記載の内容は、予告なく変更する場合があります。